Machine Translated by Google

オフラインでの文字起こし

文書化

バージョン
2024.08.29.1603

オフライン転写.DE

著作権©2024 TADELSUCHT UG (有限責任)

Machine Translated by Google

1 はじめに1.1 サポートされる録音/音声ファイル形式。 。 3
1.2文字起こしソフトの選択。 4
1.2.1 OpenAI ウィスパー。 。 。 4
1.2.2 Whisper.cpp 。 6
1.3 Whisper.cpp BLAS 。 。 6

2 インストール 7
2.1 グラフィカルインターフェイスを介したインストール。 8
2.2 コマンドラインによるインストール。 9
2.3 アプリケーションのライセンス供与。 9
2.3.1 シングルユーザーライセンス。 10
2.3.2 マルチユーザー/ターミナル サーバー ライセンス。 10
2.4 選択肢の制限。 。 。 11
2.5 トランスクリプション モデルをインストール フォルダーに展開します。 11

3 ユーザーインターフェースの詳細（GUI） 13
3.1 転写。 14
3.2 転写キュー。 。 。 15
3.3 完了した転写。 。 。 。 16
3.4 プログラム設定。 。 。 17
3.5 プログラムリソースを初期化します。 。 。 19
3.6 技術情報。 。 19

4つのコマンドライン(CMD) 20
4.1 パラメータリスト。 。 。 。 21
4.2 呼び出し例。 。 。 。 21

5 設定ファイル 23

6 よくある質問 (FAQ) 24
6.1 OfflineTranscribe のシステム要件は何ですか? 。 。 。 24
6.2 OfflineTranscribe がインストールできない。 [Windows SmartScreen] 24
6.3 ファイルやデータはアップロードされるのか、それとも保存されたままになるのかどういうわけか私のコンピューター？ 。 25
6.4 同時に何人のユーザーがライセンスを使用できますか?は？ 。 。 。 。 25
6.5 ライセンスは何台のコンピュータで使用できますか? 。 。 。 。 25
6.6 「ライセンス キーは現在使用されています」というメッセージが表示されますすでにいくつかのデバイスで使用されています。これはどういう意味ですか? 25
6.7 転写プロセスが開始されません。私に何ができる？ 。 26

Machine Translated by Google

6.8 コンピュータでの文字起こしが遅すぎます。何
できるでしょうか？。 。。。。 。。。。。 。。。。。。 。。。。。。 。。。。。 。。。。。。 26

6.9 プログラムは、選択した転写ソフトウェアと転写モデルに対して十分な RAM がないと表示します。

私に何ができる？ 。。 。。。。。 。。。。。。 。。。。。。 。。。。。 。。。。。。 26

6.10 プログラム リソース ページへのアクセス問題のトラブルシューティング
フォルダー。。。 。。。。。。 。。。。。 。。。。。。 。。。。。。 。。。。。 。。。。。。 27

参考文献7件 28

Machine Translated by Google

1

導入

OfflineTranscribeを使用すると、MP3 ファイルなどの音声ファイルを録音することができます。
インターネット接続により、自分のコンピュータ上で音声をテキストに変換、つまり文字起こしすることができます。シンプルなプログラムです
文字起こしソフトウェアとモデルを選択するためのユーザー インターフェイス
これらの提供と使用を提供し、自動化します。

1.1 サポートされている録音/音声ファイル形式

プログラムはさまざまなファイル形式をサポートしています。 MP3およびWAV ファイル
はネイティブにサポートされていますが、他のオーディオ ファイル形式は
プログラムは互換性のあるオーディオ ファイルに自動的に変換されます。の
変換されたファイルはパス%appdata%\OfflineTranscribe\に保存されます。
「Recording_5d2d3b9c-a360-4f52-a335-093e3d9d5c98.mp3」などの名前のConvertedAudioFileが一時的に保存されます。これは、付属のソフトウェア「ffmpeg」を使用して行われます[3]。

変換ソフトウェアは多くのオーディオ ファイル形式をサポートしています [詳細情報: https://en.wikipedia.org/wiki/FFmpeg#Supported_formats])。
次のファイル形式がテストされ、サポートされています。
(他の形式も、含まれているものとしてサポートされる場合があります。

Machine Translated by Google

- MP3
- WAV
- OGG
- FLAC
- M4A

1.2 文字起こしソフトの選択

このセクションでは、サポートされている文字起こしソフトウェアの選択と
モデル。これらについては簡単に説明し、興味があれば議論します。

詳しい内容が記載されていました。

1.2.1 OpenAI ウィスパー

Whisper は音声認識の汎用モデルです。それはある一つをもとにして作られた
さまざまな音声データを含む大規模なデータセットでトレーニングされ、多言語音声認識と言語翻訳の両方を行うマルチタスク モデルです。
言語識別を実行できます。[2]

機種付属の文字起こしソフトは以下の機種が使用可能です。
ささやきを選択できます:

機種名	速度	エラー率	説明
小さな	++++	+	最速 / エラー数が最も多い
ベース	++++	++	速い
小さい	+++	+++	普通
中くらい	++	++++	より良い
大きい	+	++++	最良/最小の欠陥
tiny_en	++++	+	英語のみ - 最速/最もエラーが多い
Base_en	++++	++	英語のみ - 速い
small_ja 中	+++	+++	英語のみ - 通常
_ja	++	++++	英語のみ - より良い

サポートされている言語言語サポートとエラー率は言語によって異なる場合があります。
言語は大きく異なります (詳細: https://github.com/openai/whisper/)
blob/eff383b27b783e280c089475852ba83f20f64998/ language-breakdown.svg)。
サポートされている言語のリストは次のとおりです。

- 英語
- ロシア語
- ポルトガル語
- 中国語
- 韓国語
- トルコ語
- ドイツ語
- フランス語
- ポーランド語
- スペイン語
- 日本語
- カタロニア語

Machine Translated by Google

- オランダ語
- アラビア語
- スウェーデン語
- イタリア語
- インドネシア語
- ヒンディー語
- フィンランド語
- ベトナム語
- ヘブライ語
- ウクライナ語
- ギリシャ語
- マレー語
- チェコ語
- ルーマニア語
- デンマーク語
- ハンガリー語
- タミル語
- ノルウェー語
- タイ語
- ウルドゥー語
- クロアチア語
- ブルガリア語
- リトアニア語
- ラテン語
- マオリ族
- マラヤーラム語
- ウェールズ語
- スロバキア語
- テルグ語
- ペルシア語
- ラトビア語
- ベンガル語
- セルビア語
- アゼルバイジャン語
- スロベニア語
- カンナダ語
- エストニア語
- マケドニア語
- ブルトン語
- バスク語
- アイスランド語
- アルメニア語
- ネパール語
- モンゴル語
- ボスニア語
- カザフ語
- アルバニア人
- スワヒリ語
- ガリシア語
- マラーティー語
- パンジャブ語
- シンハラ語
- クメール語
- ショナ
- ヨルバ語
- ソマリ語
- アフリカーンス語
- オック語
- グルジア語
- ベラルーシ語
- タジク語
- シンド語
- グジャラート語
- アムハラ語
- イディッシュ語
- ラオ語
- ウズベク語
- フェロー語
- ハイチ人
  クレオール
- パシュトゥー語
- トルクメン語
- ニーノスク
- マルタ語
- サンスクリット語
- ルクセンブルク語

Machine Translated by Google

- ミャンマー
- アッサム語
- ハウサ語
- チベット語
- タタール語
- バシキール語
- タガログ語
- ハワイアン
- ジャワ語
- マダガスカル語
- リンガラ
- スンダ料理

1.2.2 ささやき.cpp

このソフトウェアは、OpenAI の Whisper の代替実装です。 C++ プログラミング言語で記述されているため、システムによっては転写が高速化される可能性があります。[4]再フォーマットされた Whisper モデルが使用されます

det であり、ネイティブではWAV ファイルのみがサポートされます。 OfflineTranscribe がそれを処理します

ただし、OpenAI の Whisper などの他のオーディオ ファイル形式では、互換性のあるオーディオ ファイル形式への内部変換が必要です。今述べたこととは別に、このソフトウェアは、指定されたモデルとサポートされている言語を使用する OpenAI の Whisper とまったく同じように動作します (1.2.1 を参照)。

1.3 Whisper.cpp BLAS

このソフトウェアは、転写計算に BLAS プログラム ライブラリを使用する実装のみを備えたWhisper.cpp (1.2.2 を参照)です。[5]
一部のシステムでは、これは通常の実装よりも高速です。これは Whisper.cpp とまったく同じように動作し、同じモデルを使用します。

Machine Translated by Google

2 インストール

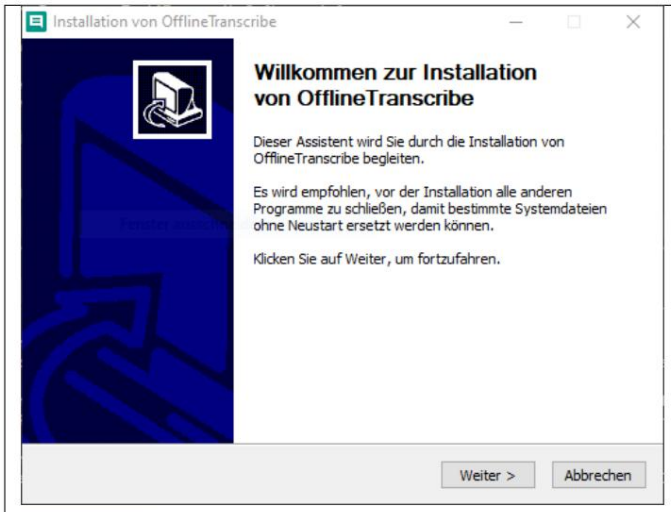
プログラムにはhttps://OfflineTranscribe.deからアクセスできます。利用可能な実行ファイル「OfflineTranscribe-Setup.exe」を起動できます。ソースによっては、圧縮 zip ファイルに圧縮されている場合があります。

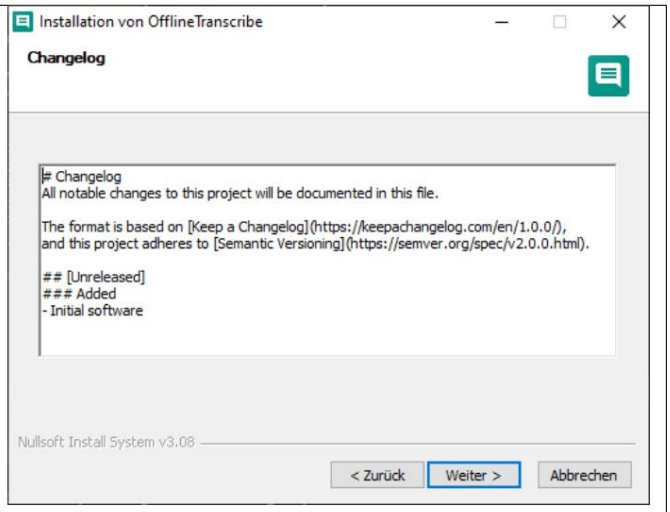
グラフィカル インストールについてはセクション2.1で説明し、コマンド ライン インストールについてはセクション2.2で説明します。

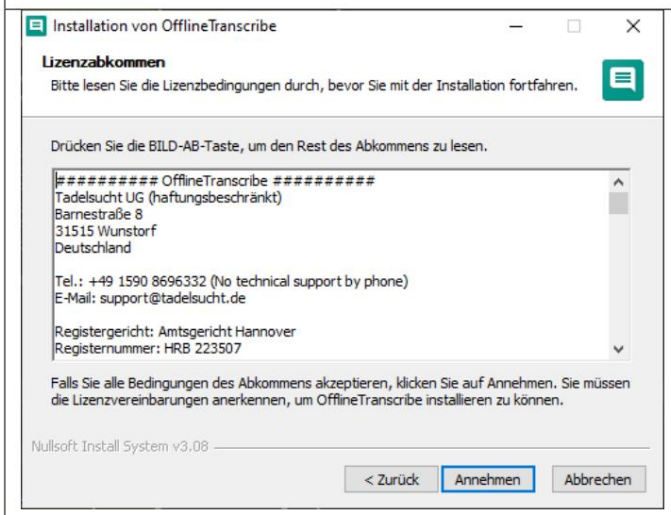
セクション2.3では、ライセンス キーを使用してアプリケーションのライセンスを取得する方法についても説明します。

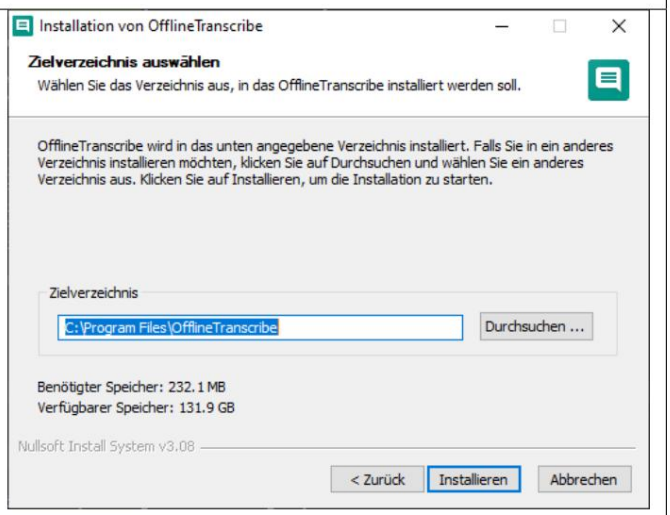
Machine Translated by Google

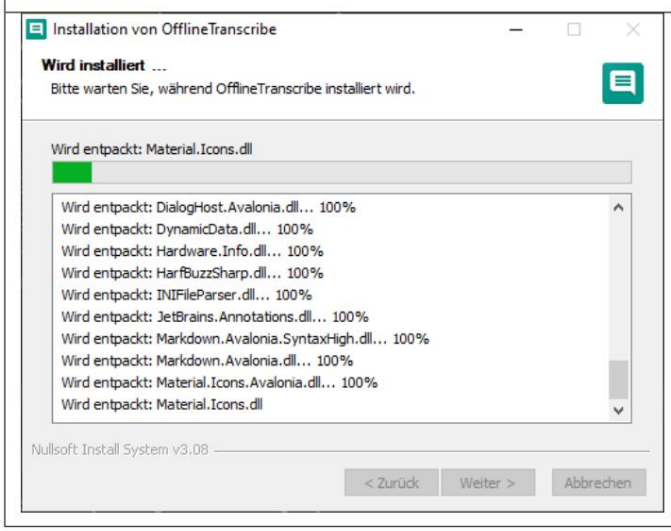
2.1 グラフィカルインターフェイスによるインストール

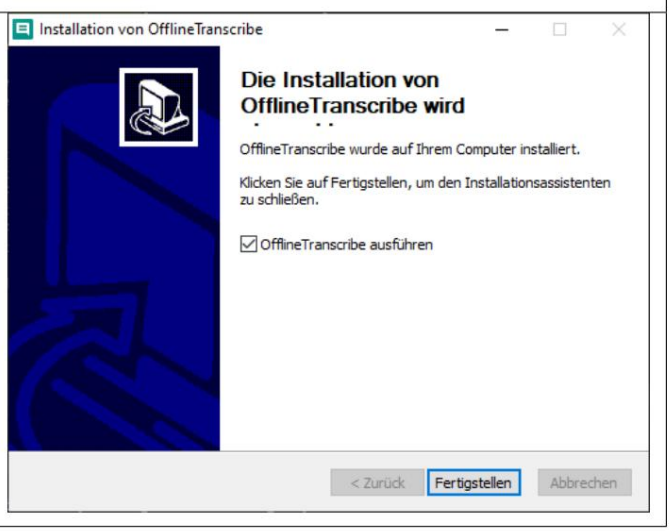












Machine Translated by Google

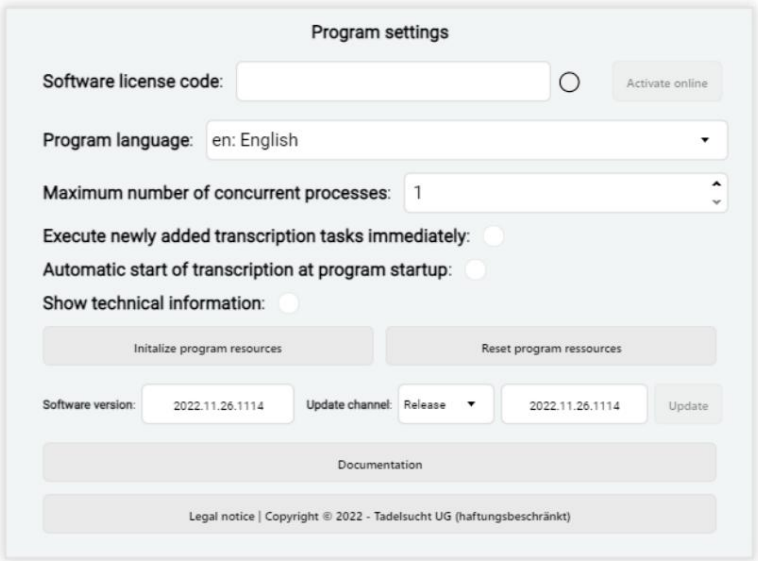
2.2 コマンドラインによるインストール

「/S」パラメータを使用すると、インストールを無人で実行できます。インストール パスを指定する必要がある場合は、パラメーター/D=C:\NewInstallDir\\を使用して指定できます。

例 1: OfflineTranscribe-Setup.exe /S
例 2: OfflineTranscribe-Setup.exe /S /D=C:\\NewInstallDir\\

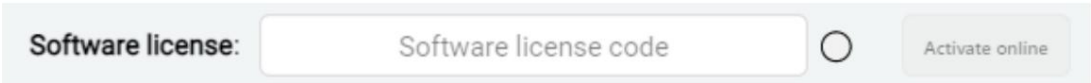
2.3 アプリケーションのライセンス供与

アプリケーションのライセンスを取得するには、ワンタイム ライセンス キーを使用する必要があります
インストールのオンラインアクティベーションを実行できます。アクティベーションの最大数は制限されており、購入したライセンスによって異なります。
アクティベーション中、ライセンス サーバーとの通信が成功した後、ライセンス キー、有効期限、デバイス ID を含む「Licenseconfirmation」ファイルがコンピュータ上に作成されます。このファイルは全員と共有されます
アプリケーションの起動は、ライセンスの有効性を確認するために使用されます。これ
試験はインターネット接続なしでも実施できます。



ライセンスの設定はプログラム設定の下にあります。
これらのライセンス関連の設定については、必要に応じて簡単な説明とともに、さまざまな形式で以下に説明します。

ライセンスキーが入力されていません



Machine Translated by Google

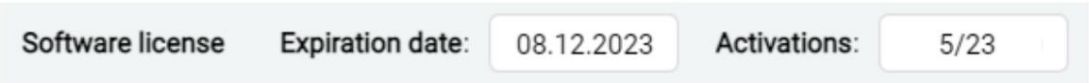
ライセンスキーが認識されない

ライセンス キーが正しくない場合、ライセンス キーは無効として表示されます
ライセンス キーの構造。キーがライセンス サーバーに認識されていないか、
ライセンス サーバーにアクセスできません。

ライセンスキーが有効であると認識されました

この場合、アクティベーション ボタンがアクティブになり、オンライン アクティベーションが行われます。
ボタンをクリックするだけで実行できます。

オンラインアクティベーションが成功した後に表示する



アクティベーション後、ライセンスの有効期限が切れる日付、実行されたアクティベーションの数、および可能なアクティベーションの最大数を確認できます。
アクティベーションが表示されました。

2.3.1 シングルユーザーライセンス

シングルユーザーライセンスの「Licenseconfirmation」ファイルは常に
作業フォルダーは%appdata%/OfflineTranscribe/ のような場所にあります。
これらのシングル ユーザー ライセンスの「Licenseconfirmation」ファイルはコンピュータ固有のものであり、別のコンピュータに簡単にコピーすることはできません
プログラムのライセンスを取得します。このコンピュータ専用のオンライン アクティベーションは、ライセンス キーを使用して新しいコンピュータで再度実行する必要があります。
導かれる。

2.3.2 マルチユーザー/ターミナルサーバーライセンス

マルチユーザー/ターミナル サーバー ライセンスの「Licenseconfirmation」ファイルは、
作業フォルダー (%appdata%/OfflineTranscribe/など)、またはプログラム フォルダー内
インストールフォルダー。マルチユーザー/ターミナルのこれらの「Licenseconfirmation」ファイル
サーバー ライセンスはコンピュータ固有ではないため、別のコンピュータにコピーするだけで、そのコンピュータ上でプログラムのライセンスを取得できます。これ

Machine Translated by Google

シングルユーザー ライセンスと比較して変更された動作は、特に企業内でのアプリケーションの広範な自動配布を目的としています。

2.4 選択肢の制限

新しいバージョンでは、インストール フォルダー内の特別なテキスト ファイルによって、特定のソフトウェアとモデルのオプションを制限できます。作成する
インストールフォルダー内のHideSoftwareAndModelFiles.txtという名前のファイル

アプリケーション。このファイルには、表示したくないソフトウェアとモデルの名前をリストできます。各要素は独立している必要があります
ライン。

例：

ウィスパー

Whisper.cpp

Whisper.cpp BLAS tiny_en

Base_en

small_en

中日

小さい
ベース

小さい

中くらい

大きい

（すべてのモデルを非表示にすると、アプリケーションが起動せず、エラーメッセージが表示されます。）

2.5 文字起こしモデルをインストールフォルダーに展開する

文字起こしモデルをインストール フォルダーにローカルにデプロイするには、AI モデル ファイルをアプリケーション インストール ディレクトリのWhisperCPPフォルダーにコピーします。さらに、インストール フォルダーにModelFilesAreInThe InstallationFolderという名前の空のファイルを作成する必要があります。これは、アプリケーションに、

ユーザーディレクトリをロードします。

例：

- C:\Program Files\OfflineTranscribe\WhisperCPP\ggml-model-whisper-tiny。
  午前

Machine Translated by Google

- C:\Program Files\OfflineTranscribe\ModelFilesAreInTheinstallationFolder

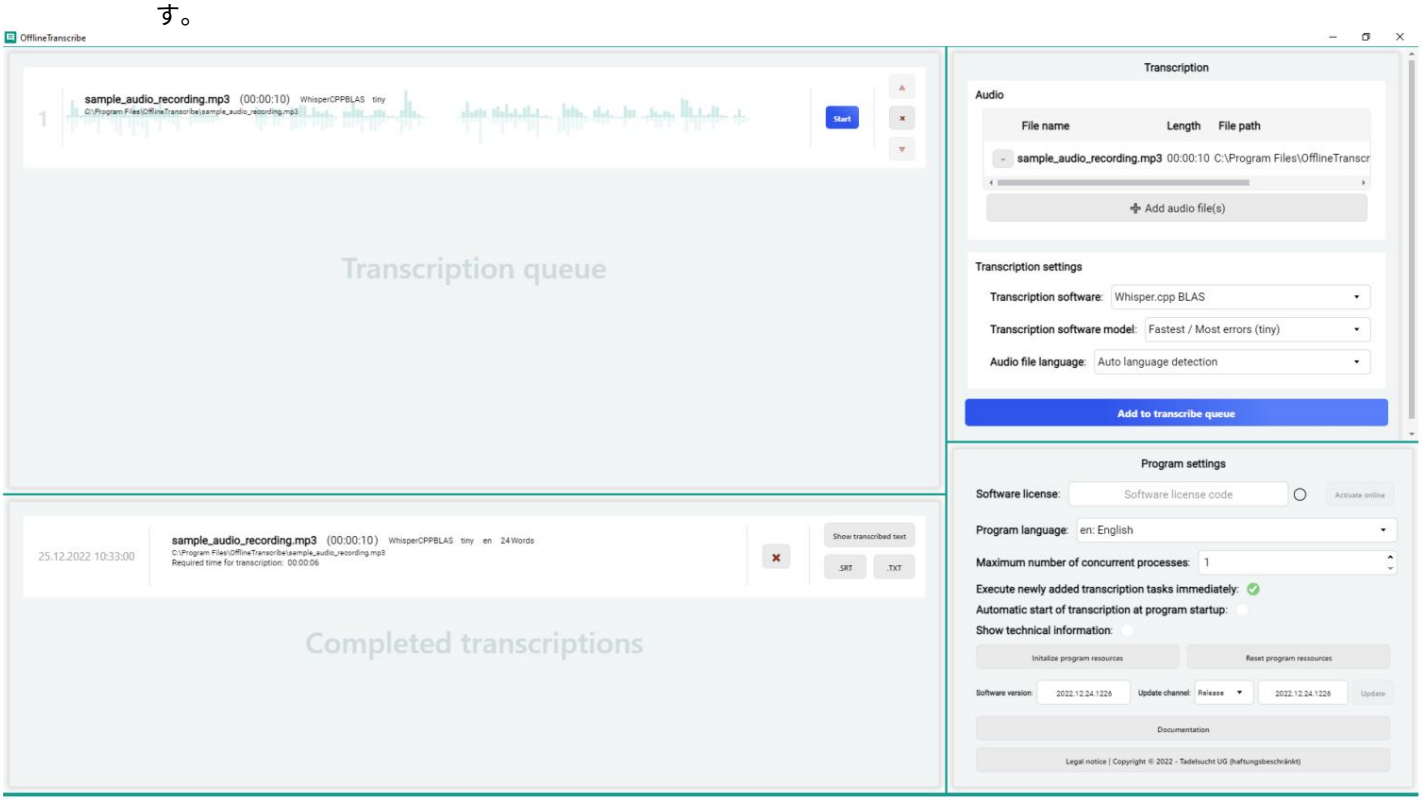
(ModelFilesAreInThe InstallationFolderファイルがない場合、アプリケーションはユーザー ディレクトリにアクセスし続けます。)

Machine Translated by Google

3

ユーザーインターフェイスの詳細（GUI）

この章では、ユーザー インターフェイス、その個々の要素、および注目すべき側面について詳しく説明します。



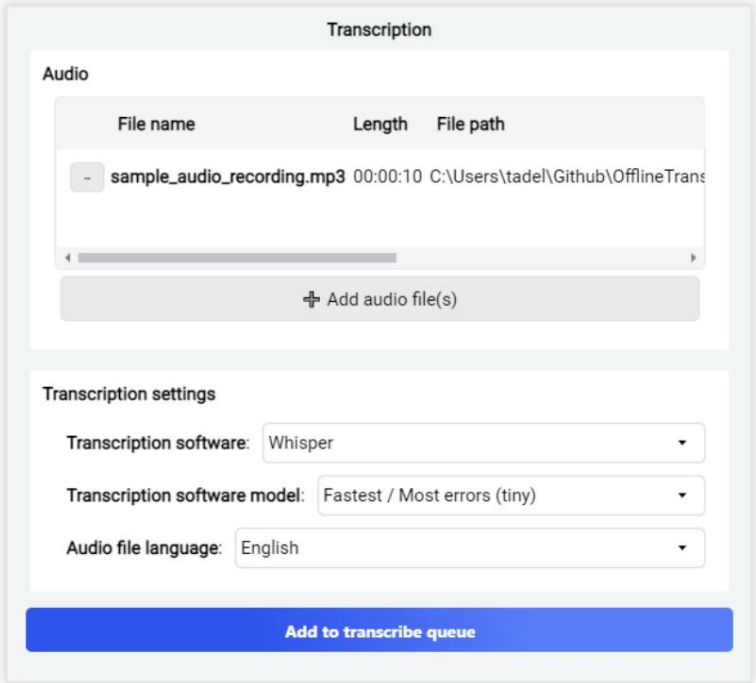
アプリケーションに表示されているスクリーンショットにはすでにエントリが作成されています。

Machine Translated by Google

たとえば、ユーザーは、オーディオ ファイルのリスト、文字起こしのキュー、および完了した文字起こしのリストに要素をデモンストレーション的に入力します。文字起こしやアプリケーション全般の設定にも変更が加えられています。

次のこの画像からの抜粋は、ユーザー インターフェイスの個々の部分を説明するために取られています。

3.1 転写



この要素グループには、「オーディオ」と「文字起こし設定」の 2 つのサブ要素グループが含まれています。

「オーディオ」サブ項目グループでは、ハードドライブからのオーディオ録音を選択してテキストに書き起こすことができます。複数の音声ファイルを同時に選択できます。選択したファイルがリストに表示され、オーディオ ファイルの名前、長さ、ファイル パスが表示されます。

「オーディオ」サブ項目グループの下に「文字起こし設定」があります。これらの設定では、文字起こしのタイプを選択できます。
まず、文字起こしに使用するソフトウェアを選択します。

Machine Translated by Google

選択したソフトウェアに応じて、その後の「文字起こしソフトの機種」の選択が変わります。これらのモデルは異なる方法でトレーニングされています
文字起こしに使用するソフトウェアのストレージ。モデルは、たとえば、文字起こしの精度、文字起こしの速度、言語の範囲などにおいて異なります。単純化した例として:

英語のみでトレーニングされたモデルは、英語の音声録音になります。
6 つの異なるものに対して同じことを行う場合よりも、転写の際に大幅に高速になります。
言語が学習されたのは、個々の単語をより多くの単語と比較して一致させる必要があるためです。
最後のオプションは、オーディオ ファイルの言語を選択することです。いくつかの
ソフトウェアとモデル選択の組み合わせにより自動認識が可能

音声ファイル内の言語。他の人はそうではありません。この場合は手動で行う必要があります

正しい言語を選択する必要があります。選択しない場合、ソフトウェアは次の言語を選択します。
間違った言語を選択して文字起こしをしています。結果
この場合、最高に面白いですが、あまり役に立ちません。

適切な音声ファイルと文字起こし設定が最終的に指定されたら、「文字起こしキューに追加」をクリックして文字起こしを開始できます。アプリケーションの設定に応じて、文字起こしプロセスが自動的に開始されます

処理は転写キューで追跡できます。

3.2 転写キュー

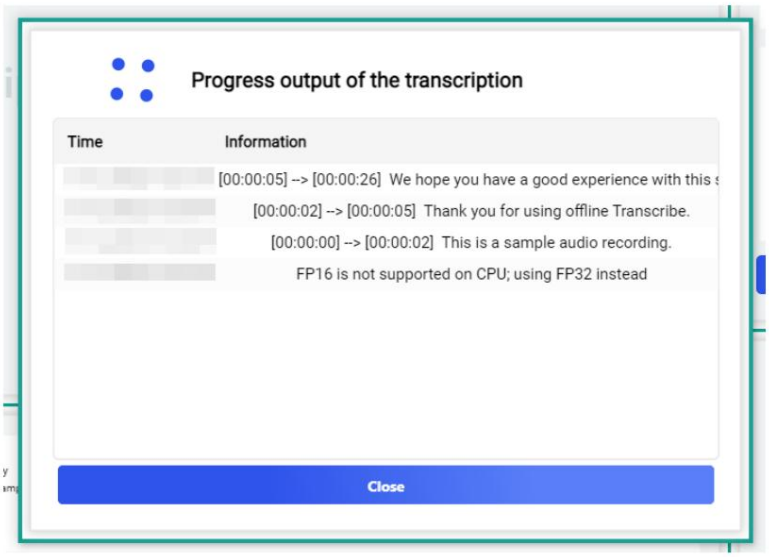
この要素グループには、現在実行中の文字起こしジョブが表示されます。
実行されるか、次に実行されます。

まだ開始されていないオーダーには、次の情報が含まれています。
リスト内の現在の場所の番号、ファイル名、録音の長さ、選択した文字起こしソフトウェア、選択した文字起こしモデル、選択したまたは自動的に決定された音声ファイルの言語。以下はオーディオ ファイルの完全なファイル パスです。注文の背景も高値と安値をグラフィカルに表現

音声ファイルに表示されます。右側には文字起こしを開始するスタートボタンがあります
が始まります。これに続いて、リスト内の注文を移動したり完全に削除したりするために使用できるボタンが続きます。

Machine Translated by Google

開始済みでまだ完了していないオーダーでは、インターフェイスにいくつかの違いがあります。スタートボタンがストップ ボタンに置き換えられ、その下に追加のボタンが追加されました。このボタンをクリックすると、以前のプロセス出力と転写ソフトウェアの技術データを表示する出力ウィンドウが開きます。このようなプロセス出力を次の図に示します。



その他の変更には、転写の進行状況のパーセンテージが含まれます
文字起こしされた分数、音声の合計分数、ビジュアル
読み込みバーと文字起こしにすでにかかっている時間が表示されます。より長い文字起こしの場合は、予想される残り時間も分単位で表示されます。これは次の画像で確認できます。

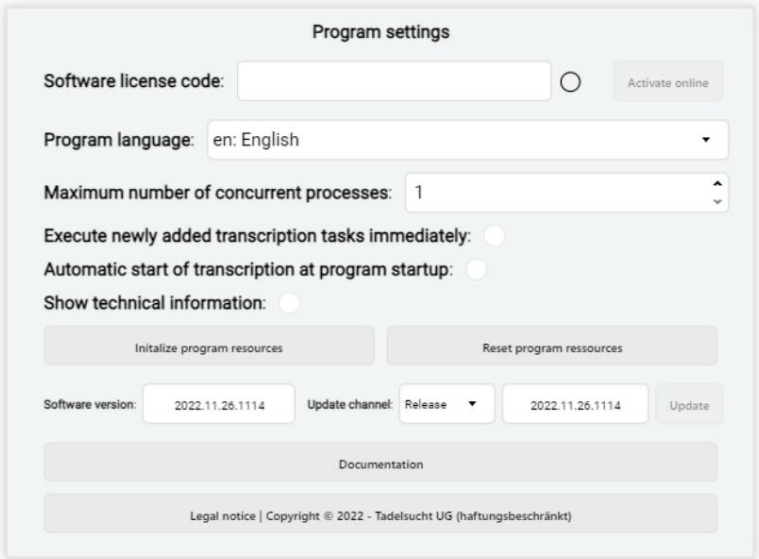
3.3 完了した文字起こし

この要素グループには、完了した文字起こしジョブが表示されます。
は。

Machine Translated by Google

ジョブには、最初は転写が完了した時間が表示されます。これに、音声ファイルの名前、音声ファイルの長さ、使用した文字起こしソフトウェア、モデル、音声ファイルの言語、文字起こし中に見つかった単語数が続きます。この情報の下に、音声ファイルへのパスと書き起こしに必要な時間が表示されます。文字起こしジョブに関するすべての情報の横に、リストからジョブを削除できるボタンがあります。次に、アプリケーション内で転写されたテキストを表示できるボタンがあります。下のボタンは、転写されたテキストを利用可能なファイル形式でハードドライブに保存するオプションを提供します。

3.4 プログラムの設定



ソフトウェア ライセンス:ここでライセンス コードを入力してアクティブ化できます。有効なライセンス コードが入力されると、[アクティブ化] ボタンがアクティブになり、ライセンス コード フィールドの横に緑色のチェックが表示されます。ライセンスの仕組みの詳細については、セクション2.3 を参照してください。

プログラム言語:ユーザーインターフェイスの言語をここで選択できます
なる。

新しく追加された文字起こしタスクをすぐに実行する:ここで、文字起こしタスクをすぐにキューに追加するかどうかを指定できます。

Machine Translated by Google

始められます。

プログラム開始時の文字起こしの自動開始:ここで設定できます
プログラムの起動時に文字起こしタスクが自動的に開始されるかどうか
キューを処理する必要があります。

同時プロセスの最大数:ここで最大数を設定できます
自動起動で同時処理数を選択可能
（「プログラム起動時に自動的に文字起こしを開始」）と同時に
導かれる。

技術情報の表示:技術情報のサブ要素グループをここに表示できます。これらには、現在の数が含まれます

進行中の転写プロセス、CPU およびメモリの使用量。

プログラム リソースの初期化:ここでプログラム リソースを手動で初期化できます。
初期化される。これらには、「文字起こし」サブ項目グループで現在選択されている文字起こしソフトウェアと
文字起こしモデルが含まれます。
(セクション3.1 を参照)。ボタンをクリックするとセクション3.5が開きます。
ウィンドウについて説明しました。

プログラム リソースのリセット:このボタンは、初期化されたすべてのリソースを削除します。
すべての転写ソフトウェアからデータを削除し、ダウンロードされたすべての転写モデル データを削除します。これは、初期化中にエラーが発生した場合に役立ちます。

ソフトウェア バージョン:現在インストールされているプログラムのバージョン番号がここに表示されます。
グラムのバージョンが表示されます。

更新チャンネル:ここで更新チャンネルを設定できます。から選択するには
「リリース」と「テスト」の場合。

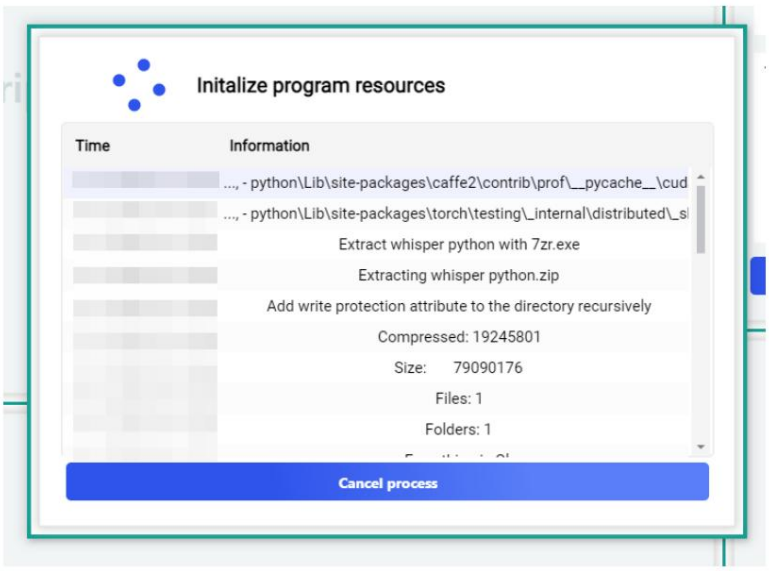
更新:このボタンを使用してソフトウェアを更新できます。ない限り
新しいバージョンは利用できません。ボタンは灰色で、やや透明で、
選択できません。新しいバージョンが利用可能になると、
オレンジ色が強調表示され、選択可能です。

ドキュメント:このボタンをクリックすると、このドキュメントのダウンロードが試行されます
オペレーティング システムのデフォルトの Web ブラウザに表示されます。

Machine Translated by Google

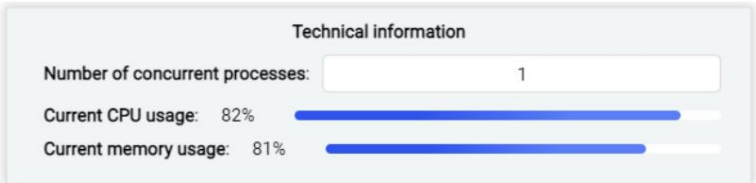
法的情報:奥付、一般利用規約、その他の法的文書はここでご覧いただけます。

3.5 プログラムリソースの初期化



この読み込みウィンドウは、プログラム リソースの初期化を手動で開始した後、またはプログラム リソースがまだ不足している転写を開始するときに開きます。実行された手順が表示され、初期化の進行状況を追跡できます。

3.6 技術情報



このサブ項目グループには、現在実行中の転写プロセスの数、CPU およびメモリの使用量などの技術情報が表示されます。

Machine Translated by Google

4

コマンドライン (CMD)

OfflineTranscribe はコマンド ラインからも使用できます。以下では、コンソールからの使用方法と考慮すべき特別な機能について説明します。

```
Eingabeaufforderung

C:\Users\tadel\Github\OfflineTranscribe\OfflineTranscribe\bin\Debug\net6.0>OfflineTranscribe.exe CLI -h

C:\Users\tadel\Github\OfflineTranscribe\OfflineTranscribe\bin\Debug\net6.0>OfflineTranscribe v2022.11.26.1114

USAGE
  OfflineTranscribe --software <value> --model <value> --language <value> --input <value> --output <value> [options]

OPTIONS
* -s|--software     Software
* -m|--model        Model
* -l|--language     Language
* -i|--input        Input
* -o|--output       Output
  -f|--format       Output format (txt, srt)
  -h|--help         Shows help text.
  --version         Shows version information.
```

コマンド ライン機能 (CLI) は、グラフィカル インターフェイスが使用するものと同じプログラム構造に基づいており、これにより、
CLI を呼び出す場合は、プログラムを明示的に待機する必要があります。そうでない場合、OfflineTranscribe の間、コマンド ラインはすぐに次のコマンドを期待します

Machine Translated by Google

バックグラウンドで実行中です。したがって、プログラムは常に「start /w OfflineTran-scribe CLI」で起動して、アプリケーションが終了するのを待つ必要があります。
出力は正しく表示されます。呼び出しの例は、インストール フォルダー内の「OfflineTranscribe-CLI-Example.bat」またはセクション4.2にあります。さらに
プログラムが受け入れるファイル パスは、Windows 環境変数を使用する場合にもサポートすることに注意してください。

4.1 パラメーター一覧

次の表は、個別にまたは組み合わせて使用できるすべての使用可能なパラメータを示しています。

パラメータの略称		説明
CLI		CLIを使用するために必要なパラメータ。
-ソフトウェア	-s	文字起こしソフト [ウィスパー、ウィスパーCPP、ウィスパーCPPBLAS]
-モデル	-m	転写モデル（ソフトウェアに依存） [小型、基本、小型、中型、大型、 tiny_en、base_en、small_en、medium_en]
-言語	-l	音声ファイルの言語。 auto = 自動音声認識 ISO 639-1 コード [en、zh、de、es、ru、ko、fr、 ..]
-入力	-私	音声ファイルへのパス。 （例 :C:\recording.mp3）
-出力	-o	出力ファイルへのパス。 (例: C:\output.txt
-形式	-G	出力フォーマット [txt、srt]
-ヘルプ	-h	現在のヘルプ テキストを表示します。
-バージョン		現在のバージョン番号を表示します。

4.2 呼び出し例

次の例は、パラメーターの使用法を示しています。

Machine Translated by Google

```
chcp 65001
start /w "C:\Program Files\OfflineTranscribe\OfflineTranscribe.exe"
    CLI -s WhisperCPP -m tiny -l en -i サンプルオーディオ録音.mp3 -o
    "%USERPROFILE%\Downloads\sample_audio_recording.txt" -f txt
一時停止
```

```
chcp 65001
start /w "C:\Program Files\OfflineTranscribe\OfflineTranscribe.exe"
    CLI -s WhisperCPPBLAS -m small -l de -i
    "C:\sample_audio_recording.mp3" -o "C:\sample_audio_recording.srt"
    -f srt
一時停止
```

```
chcp 65001
start /w "C:\Program Files\OfflineTranscribe\OfflineTranscribe.exe"
    CLI -s Whisper -mlarge -l zh -i "C:\sample_audio_recording.mp3"
    -o "C:\sample_audio_recording.srt" -f srt
一時停止
```

Machine Translated by Google

5

設定ファイル

アプリケーションが起動すると、「Configuration.ini」が作成されます。
ユーザーインターフェイスで行った設定を保存します。このファイルは、
%appdata%\OfflineTranscribe\フォルダーに作成されます。このフォルダにあります
一時ファイル、必要に応じてライセンス検証ファイルおよび検証結果も含まれます。
転写プロセス。
以下は「Configuration.ini」の最大バージョンの例です。

```
[UI]
言語=英語
SelectedTranscriptionSoftware =ささやき
SelectedTranscriptionModel = tiny
UpdateChannel =リリース
LastAudioFilesOpenFileDialogPath = C:
SelectedTranscriptionLanguage =自動

[バックグラウンドワーカー]
同時プロセス数= 1
```

Machine Translated by Google

6

よくある質問

（よくある質問）

6.1 OfflineTranscribe のシステム要件は何ですか?

互換性は Windows 10 および Windows 11 でテストされています。約あります。
インストールには 500 MB のディスク容量が必要です。選択した文字起こしソフトウェアとモデルによっては、使用中に最大 20 GB のストレージ容量が使用される場合があります。このプログラムでは、ライセンスのアクティベーションのために 1 回限りのインターネット接続が必要です。選択した文字起こしモデルを OfflineTranscribe によって自動的にダウンロードするには、インターネット接続が一度必要になる場合もあります。アプリケーションがモデルをダウンロードする必要がないように、転写モデルを事前に適切なフォルダーに配置することもできます。

6.2 OfflineTranscribe がインストールできない。 [Windows SmartScreen]

ダウンロードしたインストールファイルをダブルクリックすると、
「コンピューターは Windows によって保護されました」または「Windows Smartscreen により不明なアプリの起動が妨げられました」などのメッセージが返される必要があります
インストールはウィンドウ内の「詳細」というテキストをクリックしました。
そして「とにかく実行」をクリックします。

このようなメッセージは、実行可能プログラムが実行されたときに Microsoft によって表示されます。

Machine Translated by Google

gram は比較的最近作成されたもので、Microsoft はまだそれを知りません。 Microsoft は、実行可能ファイルをバックグラウンドで自動的にアップロードして分析し、プログラムが多くのユーザーによって長期間使用されると、このメッセージを他のユーザーに表示しなくなります。したがって、残念ながら、プログラムの新しいバージョンが登場するたびに問題が再発する可能性があります。

6.3 ファイルやデータはアップロードされるのか、それとも残されるのか どういうわけか私のコンピュータ？

いいえ !データはコンピュータ上にのみ残ります。 OfflineTranscribe が読み込まれていません

データを任意のサーバーにアップロードします。プログラムは、少数の場合にのみ OfflineTranscribe サーバーへの接続を確立します。これらのケースには、1 回限りの必要なライセンスのアクティベーション、プログラム更新の検索、ライセンスが現在複数のコンピューターで同時に使用されているかどうかの確認、および必要な転写モデル データが含まれます。

6.4 1 つのライセンスを同時に使用できるユーザーは何名ですか? 間違いないですか？

これは選択したオファーによって異なります。シングル ユーザー ライセンスは一度に 1 人のユーザーのみが使用できますが、マルチユーザー/ターミナル サーバー ライセンスは、提供内容に応じて複数のユーザーが同時に使用できます。
使用される場合があります。

6.5 ライセンスは何台のコンピュータで使用できますか?

ライセンスは複数のコンピュータにインストールできますが、同時に使用できるのはそのうちの 1 台のコンピュータのみです。アプリケーションの起動時および使用中に、ライセンスがすでに複数のコンピュータで使用されているかどうかがチェックされます。この場合、そのコンピュータが再びソフトウェア ライセンスを使用する唯一のコンピュータになるまで、プログラムはデモ モードに戻されます。それまでは、進行状況が失われることはなく、プログラムが自動的に終了したりすることもありません。唯一の違いは、デモ モードの制限が再びオンになることです。

6.6 「ライセンス キーは現在使用されています」というメッセージが表示されます すでにいくつかのデバイスで使用されています。これはどういう意味ですか?

これは、ライセンスが現在、過去 15 台の複数のコンピュータで実行されていることを意味します。
分が使用されましたが、別のコンピューターでは同時に使用されていませんでした

Machine Translated by Google

使用される場合があります。過去 15 分間に複数のコンピュータで同時にライセンスを使用し、プログラムが再び終了した場合は、遅くとも 15 分後には現在のコンピュータで OfflineTranscribe を再度実行できるようになります。これに当てはまらず、プログラムが現在実行されている別のコンピュータを知らない場合は、ライセンス コードの盗難の可能性を排除できません。この場合は、サポートに連絡して、仕事に戻るための解決策を一緒に見つけてください。

6.7 転写プロセスが開始されません。私に何ができる？

この場合は、プログラムリソースをリセットしてみてください。これが機能せず、「自動言語検出」が有効になっている場合は、正しい言語を自分で選択してください。これでも機能しない場合、またはすでに言語を選択している場合は、選択肢から別の文字起こしソフトウェアを試してください。

6.8 コンピュータでの文字起こしが遅すぎます。私に何ができる？

文字起こしは自分のコンピュータ上で完全にオフラインで行われるため、CPU と RAM のみが使用されます。選択した文字起こしソフトウェアと文字起こしモデルによっては、コンピュータの性能が文字起こし速度の要件を満たすのに十分ではない場合があります。この場合、プログラム内でさまざまな文字起こしソフトウェアと文字起こしモデルをテストし、それでも問題が解決しない場合は、より高速なコンピューターを購入することをお勧めします。それ以外の場合は、Google などの別のプロバイダーのクラウドベースの文字起こしサービスに切り替えるという選択肢もあります。

6.9 プログラムは、選択した文字起こしソフトウェアと文字起こしモデルに対応する RAM がないと表示します。十分です。私に何ができる？

この場合、仮想メモリを手動で増やすことができます。これを行うには、検索エンジンに「Windows 仮想メモリを増やす」と入力するか、たとえば次の記事を読んでください: https://www.makeuseof.com/tag/virtual-memory-low-heres-fix/。

Machine Translated by Google

6.10 プログラム リソース ページへのアクセス問題のトラブルシューティング フォルダ

プログラムが報告したために問題が発生した場合は、
プログラム リソース フォルダー(%AppData%\OfflineTranscribe)にアクセスできません
さまざまな理由によって引き起こされる可能性があります。これは、選択されたものに応じて、転写がまだ進行中であることを示している可能性があります。
タスクマネージャーの文字起こしソフトウェア「python.exe」または「main.exe」
CPU 使用率が高い場合に表示される可能性があります。必要に応じて、タスク マネージャーを介してこれらのプロセスを終了できます。もう一つの可能性は、
OfflineTranscribe の複数のインスタンスが同時に実行されているか、
ウイルス スキャナーが現在フォルダーをチェックしています。
いずれの場合も、コンピュータを再起動すると、
フォルダーにアクセスできなくなります。ただし、この手順を実行する前に、タスク マネージャーで前述のプロセスを検索することをお勧めします。
これらがアクティブであり、手動で終了する必要があるかどうかを確認します。

Machine Translated by Google

7

参考文献

[1] オフライン文字起こし
https://OfflineTranscribe.de/

[2] OpenAi ウィスパー
https://github.com/openai/whisper

[3] OpenAi Whisper
https://en.wikipedia.org/wiki/FFmpeg

[4] Whisper.cpp https://github.com/ggerganov/whisper.cpp

[5]ブロー https://en.wikipedia.org/wiki/Basic_Linear_Algebra_
サブプログラム